

# 衆議院海賊行為への対処並びに国際テロリズムの防止及び我が国の協力支援活動等に関する特別委員会ニュース

平成 26. 6. 6 第 186 回国会第 3 号

6 月 6 日（金）、第 3 回の委員会が開かれました。

## 1 海賊行為への対処並びに国際テロリズムの防止及び我が国の協力支援活動等に関する件

- ・岸田外務大臣、太田国土交通大臣、小野寺防衛大臣、横畠内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 中 谷 真 一 君（自民）

- ・第 151 合同任務部隊（C T F－151）の司令官任務を海上自衛隊も担うべきと考えるが、小野寺防衛大臣及び岸田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・ジブチで発生したテロ事案（5 月 24 日）を踏まえ、派遣されている自衛隊員の安全確保のため、自衛艦の停泊港の変更や活動拠点内での福利厚生の実施が必要と考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・ソマリア沖・アデン湾での海賊発生件数が減少する一方で、不審船目撃回数が増加していることから、我が国は海賊対処行動から撤退すべきではないと考えるが、岸田外務大臣及び小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

### 岡 本 三 成 君（公明）

- ・イスラム過激派組織「ボコ・ハラム」による女子生徒集団拉致事案に対し、欧米諸国や国連が具体的な行動を起こしている中、我が国として今後どのような支援をおこなっていくのか、岸田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・ソマリア沖・アデン湾での海賊問題を根本的に解決するため、ソマリアに対し我が国は国を挙げて支援していくことが必要と考えるが、岸田外務大臣の見解を伺いたい。

### 辻 元 清 美 君（民主）

- ・これまで政府が示してきた「武力の行使との一体化」の判断基準を変更することは、これまでの国会議論で積み上げられてきた「武力の行使との一体化」論を根本的に変更することとなるかと考えるが、横畠内閣法制局長官の見解を伺いたい。
- ・安倍総理が、武力行使の目的をもって自衛隊を海外へ派遣するいわゆる海外派兵は行わないとする一方で、政府が、武力の行使に当たるとされる攻撃国による武力攻撃の一環として敷設された機雷除去の活動への参加を検討

すべき事例として与党協議に提示することは矛盾すると考えるが、岸田外務大臣の見解を伺いたい。

- ・集団的自衛権や国際協力活動において武力の行使を広く認めた場合、結果的に報復攻撃等を招くことが予測されることから、集団的自衛権の行使や国際協力活動の参加基準の変更を検討すべきではないと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

### 中 丸 啓 君（維新）

- ・先月、米バージニア州に新たな慰安婦碑が設置されたという報道がなされたが、これら慰安婦碑等の設置については、現地に住む日本人へのいじめや差別を助長するものであり、政府は強く撤去を求めると考えるが、岸田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・憲法解釈を変更して、集団的自衛権の行使を限定的に容認するには、国家安全保障基本法を制定し、その中で根拠を規定する必要があると考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・与党間の協議で、現行法制で対応できないとされている 15 の事例について検討が行われているが、抑止力の低下を防ぎ部隊が現場で瞬時の判断ができるように、行動してはいけないことを列挙したいいわゆるネガティブリストの観点から、事例の検討を行うべきと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

### 大 熊 利 昭 君（みんな）

- ・自衛隊の海外における活動の増加に伴い、我が国が捕虜交換を行う事態が生じることも考えられるが、そうした場合の対応について、防衛省はどのような検討を行っているか伺いたい。
- ・自衛隊に遺棄機雷以外の機雷を掃海させることを検討するのであれば、どのような場合に活動を中止するのかという要件についても、予め検討しておく必要があると考

えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

- ・テロリズムが蔓延する背景には「恨み」があると考えられ、我が国はこれを解消する役目を担うべきと考えるが、岸田外務大臣の見解を伺いたい。

## **林 宙 紀君 (結い)**

- ・集団的自衛権の行使を容認すれば、自衛隊員の身に危険が生じるリスクが増加すると考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・海外で武力行使を行うようになれば、我が国に対するテロのリスクも増大する可能性があると考え、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・集団的自衛権の行使を容認すべき事例の検討に当たっては、それを認めた場合にどのような影響が生じ得るかについても併せて検討すべきと考えるが、内閣官房の見解を伺いたい。

## **赤 嶺 政 賢君 (共産)**

- ・北朝鮮の第一次核危機（1993～1994 年）において、米国が空爆を検討しながらも、結局は軍事的な選択肢をとり得なかったことについて、岸田外務大臣の所見を伺いたい。
- ・朝鮮半島有事における在留邦人退避のための我が国の計

画及び韓国政府との調整状況について、岸田外務大臣に伺いたい。

- ・在留邦人退避のための自衛隊の受入に韓国が同意しない可能性があるのは、歴史認識問題に対する我が国政府の姿勢に原因があると考え、岸田外務大臣の見解を伺いたい。

## **村 上 史 好君 (生活)**

- ・2011 年のグアナバラ号事件で、我が国は米軍から引き渡された海賊被疑者を我が国に送還して訴追したが、EU や米国がかつてケニア等のソマリア周辺国に海賊被疑者を引き渡して訴追させていたような措置を行わないのか、外務省の見解を伺いたい。
- ・現在のソマリア・アデン湾沖における自衛隊の海賊対処行動の対処要項は、本年 7 月 23 日までを期限としているが、その後も、引き続き活動を継続する予定なのか、小野寺防衛大臣に伺いたい。
- ・2001 年の米国同時多発テロ事件以降、テロの形態が個人型や国内型へと変化してきている中で、2020 年の東京オリンピックや 2016 年の主要国首脳会議（サミット）等我が国における国際的重要行事に対してテロ対策をどのように進めていく予定なのか、外務省の見解を伺いたい。